

2026年2月12日

各位

会社名 夢展望株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 津田茂寿  
 (コード: 3185 東証グロース市場)  
 問合せ先 常務執行役員管理本部長 今浦史尊  
 (TEL. 072-761-9293)

### 連結業績予想の修正に関するお知らせ

夢展望株式会社（本社：大阪府池田市、代表取締役社長：津田茂寿）は、2026年2月12日開催の取締役会において、2025年5月15日に公表いたしました2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）の連結業績予想を下記の通り修正いたしますので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2026年3月期連結業績予想値の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
前回発表予想（A）	百万円 3,700	百万円 1	百万円 △74	百万円 △72	百万円 △72	円銭 △5.05
今回修正予想（B）	3,350	△217	△298	△296	△296	△16.13
増減額（B-A）	△350	△218	△224	△224	△224	—
増減率（%）	△9.5	—	—	—	—	—
（参考）前期連結実績 (2025年3月期)	4,499	△277	△359	△369	△369	△22.50

※本記載数値情報は表示単位未満の端数切捨て、増減率の小数点以下第2位切捨て小数点第1位まで記載しております。

※上記予想は、現時点での入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 修正の理由

当連結会計期間におけるわが国経済は、物価高騰を背景とした節約志向の定着により、個人消費は依然として厳しい状況が続きました。こうした中、当社グループは売上規模の拡大よりも財務体質の強化を最優先とし、構造改革を断行してまいりました。損益面におきましては、収益性の改善に向けた固定費の削減が全セグメントにおいて計画通り進捗いたしました。また、2023年以前の滞留在庫を積極的な圧縮を遂行したため、営業キャッシュフローの大幅な改善、さらに在庫の現金化により財務体質の改善がみられました。一方で、在庫日数の圧縮に取り組んだため、当期間の新商品の発売商品数を大幅に制限したため、各事業における売上収益の減少の影響が大きく、これらを補うには至りませんでした。

アパレル事業につきまして、当社におきましては、国内市場では収益性を重視した事業運営への転換を図り在庫圧縮を進めたため売上収益は減少となりましたが、海外展開については順調に推移いたしました。一方、ナラカミーチェジャパン株式会社におきましても、収益性を重視した事業運営への転換を進め、不採算店舗の閉鎖などコスト適正化に向けた施策を実行いたしました。ジュエリー事業におきましては、金・プラチナ等の原材料価格の高騰を受けて販売価格の改定を実施いたしましたが、これに伴う買い控えや客数の伸び悩みが生じ、売上が想定を下回って推移いたしました。トイ事業におきましては、利益率の改善を目的として主要取引先との取引条件の見直しや低収益商材の抑制を行った結果、売上収益は大幅に減少し、営業利益は確保したものとの減益となりました。

以上の結果、売上収益・営業損益・税引前利益・当期利益・親会社の所有者に帰属する当期利益、何れについても、期初の通期業績予想を下方修正せざるを得ないとの判断に至りました。

以上